

一般質問通告書

通告順番 1 番

通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 高齢者の移動手段の確保と負担軽減について	(1) 本町では、生活の移動手段として車が欠かせない高齢者も多い中、自主的に免許を返納した場合などの移動手段の確保が重要な取り組みである。高齢者の方を対象とした、乗合タクシー料金の負担軽減のため「定額制」や「乗り放題」等のフリーパス制度を導入するべきではないか。	町 長
2. 特別定額給付金の基準日である4月27日より後に生まれた赤ちゃんにも特別定額給付金（特別祝い金）を支給するべきではないか	(1) 妊娠中に肺炎を起こした場合、妊娠していない時に比べて重症化しやすいと言われている。そのため、妊婦の方は新型コロナウイルスに感染しないよう、神経を使っておられる。里帰り出産もできず、出産時はマスクをし、家族の立ち会いや見舞いもできない。産後も感染しないようにしながらの育児は本当に大変だと思う。「安心して出産・子育てができるまち」を掲げるのであるならコロナ禍に生まれた赤ちゃんにも特別定額給付金（特別祝い金）を給付するべきではないか。	町 長
3. 三密による新型コロナウイルスへの集団感染を防ぐための分散投票について	(1) 投票所に多くの人が密集することによる新型コロナウイルスへの集団感染が心配される。密集による感染を防ぐために分散して投票できるよう期日前投票所の増設と時間延長をするべきである。	選挙管理委員会委員長

一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 防災対策の再点検を</p>	<p>(1) 線状降水帯と言う、ゲリラ豪雨が球磨川水系を襲って甚大な被害をもたらした。いつ、阿蘇・菊池地区に線状降水帯が数日間襲うかもしれない。災害時の準備と対応などを聞きたい。</p> <p>①避難所でのプライバシー保護の徹底を。</p> <p>②避難指示のタイミングについて。</p> <p>③避難所の3密と暑さ寒さ対策。</p> <p>④避難所に避難された高齢者対応。</p> <p>⑤河川沿いの避難所（公民館・体育館）の在り方。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>2. 肥後おおづ観光協会を肥後大津駅南口へ</p>	<p>(1) JR豊肥本線の全面開通や国道57号が全面復旧していくなか、大津町の観光案内を考えるうえで観光案内所のあり方について</p> <p>①肥後おおづ観光協会の肥後大津駅南口への移転拡充をするべきではないか。</p> <p>②拡充後の観光協会内での、大津町の特産品・工業製品の展示販売。</p> <p>③南口での大型スクリーンによる大津町内の観光PRを。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 3 番
通告者 永田 和彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 公衆衛生を高め住みよい街に	<p>(1) コロナウイルスの脅威に日常の生活を晒されながらも、今を生き抜く為に不断の態度として基本に立ち返り公衆衛生を徹底しなければならない。 基本は手洗いとうがいマスク着用だが、特にウイルス対策として顔を触らないようにしなければならない。教育で公衆衛生に取組めば末広がり効果が期待出来るだろう。 これから先も人類とウイルスとの戦いは続く、ハードの整備に公共手洗場兼噴水や休憩所を設置し街並みや衛生効果を高められる町とし、総合的な公衆衛生へとつなげ、その予防効果は住みやすさとなり経済効果へ続くものと考えられる。</p>	町 長 教 育 長

一般質問通告書

通告順番 4 番

通告者 大塚 龍一郎 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 自転車を活用したまちづくり推進</p>	<p>(1) 国や自治体も自転車利用の有用性を認識しはじめ自転車活用推進計画が進められている。公共利益の増進に期待し地方創生の推進の目玉となっている。県はサイクルツーリズムの効用を地域振興に生かす為に「大津・菊陽」ラインのルートを整備することになっているが、本町の歴史的資源が生かされるようになっているか、又これからの自転車を活用したまちづくりの推進に対して伺う。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 文化財「江藤家住宅」と郷土愛</p>	<p>(1) 大規模復旧工事の間で実施されている「見学会」の状況について。</p> <p>(2) 江藤家（一族）から有為な人材が出ているが認知度が浅い。国や地方での活動を郷土の歴史遺産に加え郷土愛の育成になると思うが見解を問う。</p> <p>(3) 復旧工事と共に新たに隣接地に作られる公園的施設はどのようなイメージになるのか。</p> <p>(4) 修復作業内容を含む新生「江藤家住宅」の完工記録誌の町独自の作成、発刊について伺う。</p>	<p>教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 5 番
 通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 道理のない町有地大幅値引き売却、町長の説明責任を問う	(1) 社会福祉法人に賃貸借した町有地が半ば半額で売却された。議会は賛成多数で可決されたが、大幅値引きの根拠、売却の相手について、道理が通らない。大津町まちづくり基本条例に照らして、第三者である不動産業者に不可解な価格の値引売却について、町民が納得できる説明を求める。	町 長
2. 新型コロナウイルス感染症対策	(1) コロナ感染症の拡大が地方まで広がっている。これ以上の拡大を抑えるためにはPCR検査を抜本的に拡充する必要がある。特に老人福祉施設などでは、神経を張り詰めておられる。施設の経営支援とともに、PCR検査を受けられるよう配慮が必要ではないか。	町 長
3. 熊本地震、町の復興基金の活用	(1) 地震から5年目となったが、いまだに屋根にブルーシートがかかっている建物がある。何らかの理由で公費解体ができなかったのか、間にあわなかったのか。これから台風による風害が心配される。瓦などが隣近所に飛ばされ、被害が想定される。基金を使ってでも、対応が必要ではないか。	町 長

一般質問通告書

通告順番 6 番
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 種苗法改正について	<p>(1) 種苗法が改正された場合、大津町の農業への影響について</p> <p>①大津町を代表する農作物である甘藷「紅はるか」や「シルクスweet」等の登録品種を多く栽培する本町において「農家の自家採取を原則一律禁止」となった場合、本町の農業における影響は。</p> <p>②日本の優良な種苗を海外に流出させないために、改正が必要との声もあるが本当か、町の見解を問う。</p>	町 長
2. 有害鳥獣対策について	<p>(1) 今年の7月過ぎから猿が北部地区を中心に大挙して押し寄せ、からいもなどを食い荒らしており、今後、被害が拡大することが懸念される。農家にとって死活問題となるのではないかと。又猿は学習能力や運動能力が高く、従来の対策では対応できないのではないかと。町の見解と対策を問う。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 6 番
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 地域防災計画について</p>	<p>(1) 度重なる豪雨災害等から町民の命を守るため、今後、集中豪雨や台風などの水害に備えるため「水害危険箇所総点検」を早急を実施して、河川や排水路の点検をおこない土砂等堆積・阻害物等の確認・除去作業を実施する必要があると考えるが本町の見解を問う。</p> <p>(2) 本町では国道57号北側復旧ルート建設や太陽光発電施設等の人工物が山地斜面に設けられているが、豪雨時の土砂流出等に影響が懸念されるのではないかと。今後、砂防・治山・景観・生態系から災害対策までの総合的な森林管理の推進が必要と考えるが本町の見解と対策を問う。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 7 番
 通告者 金田 英樹 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 町営住宅駐車場料金の収納方法の見直し</p>	<p>(1) 現在、大津町の公営住宅における収納（集金）は口座振替が基本である。一方で駐車場に関しては、町が入居者から直接収納するのではなく、各町営住宅あるいは棟別などで住民が駐車場の管理組合を設け、組合内の担当者が戸別に集金したうえで役場担当課へ毎月現金を持参している。</p> <p>まず、駐車場に関しても住宅同様に町有財産であるため、収納は直接町が行う方が本筋である。また、事務の効率と品質面からも、町営住宅の家賃と駐車場代金を合算して町が一括収納する方が都度、集金や窓口持参するよりも住民と役場双方にとって手間が少なく、現金取り扱いに伴う事故発生の防止にも繋がり合理的である。さらに、近年の個々人の生活リズムの多様化や、新型コロナウイルスの蔓延状況を踏まえても、対面集金によるデメリットは大きいと考える。</p> <p>以上を踏まえ、下記の2点を明らかにしたうえで、家賃と駐車場料金の収納を一元化し、役場直轄へ変更する考えはないかを問う。</p> <p>①現行の手法をとっている経緯と利点。</p> <p>②変更における課題とデメリット。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 7 番

通告者 金田 英樹 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
2. コロナ禍の経済政策	<p>(1) コロナ禍で宿泊業・飲食サービス業をはじめ、様々な業種業態の事業者が大変厳しい状況にある。こうした状況に対する経済刺激策・事業者救済策として、国はGoToキャンペーンや持続化給付金、家賃補助などの施策を打ち、大津町としても外需を期待しての独自観光施策や、家賃の一部補助、飲食業等への10万円の給付などを打ち出している。</p> <p>しかしながら、コロナ禍での外需だよりの施策は不安定であり、家賃補助や給付も短期間における応急かつ限定的な支援に留まる。</p> <p>もちろん、これらの取組みには効果もあり事業者の方々の助けにはなったと考えるが、コロナ終息の兆しが見えない現状を踏まえれば、町内あるいは近隣の市町村を含んだ形で、住民の安心感を育みながら「内需」を喚起することに、より焦点を当てた経済施策が有効かつ必要であると考えている。</p> <p>以上を踏まえ、次の5点を進める考えはないかを問う。</p> <p>①住民が安心して店舗を利用するための感染防止策に対する事業者向け補助（消毒、検温機器、アクリル板など）、および取組み支援・啓発。</p> <p>②商工会や観光協会などとも連携した各事業者の感染防止策に関する対外向け情報発信。</p> <p>③中食需要を喚起するためのテイクアウト等に対する利用者向けの補助制度。</p> <p>④国のGoToキャンペーンと組み合わせた、住民が町内のホテル・飲食店グループを割安で利用できる事業者と住民双方への「応援プラン」の仕組みづくり。</p> <p>⑤コロナ禍でのお取り寄せ需要の伸びに対応した、ふるさと納税返礼品の拡充と対外プロモーション。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 8 番
 通告者 佐藤 真二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 固定資産台帳と財産管理の在り方について</p>	<p>(1) 町有地の売却にあたり不合理な処理が行われ、町の財産管理や処分の在り方の課題が見えた。ルール策定が必要。</p> <p>①新地方公会計制度に移行しているが、その意義をどのように考え活用しようとしているか。</p> <p>②財務諸表等調製と決算を同時にすべき。</p> <p>③固定資産台帳の更新周期を明確にすべき。</p> <p>④「保有する財産の活用や処分に関する基本方針」の策定が必要。</p> <p>⑤財産の売却処分等のルール策定が必要。</p> <p>⑥新地方公会計制度に対する職員の習熟が必要。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. パワーハラスメント等の防止・対策について</p>	<p>(1) パワーハラスメント等が課題となっている。 職員を守り、業務遂行へのモチベーションを高めるためにはあらゆるハラスメントへの対策が求められている。 また、対策の枠組みだけではなく、実効性を持たせる職場風土の醸成が必要。</p>	<p>町 長 教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 9 番

通告者 坂本 典光 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 空港ライナーの現況と今後の展開	<p>(1) コロナウイルス感染症の影響で熊本空港の発着便が減っている。空港ライナーの現況はどうなっているか。</p> <p>(2) 県は JR 三里木駅から熊本空港までの鉄道を計画している。しかし今度の球磨川洪水の復旧で空港線建設は多大な影響を受けるのではないかと思う。県庁と密接な関係にある町長の見解を問う。</p>	町 長
2. 不知火頭彰館の件	<p>(1) 南部の象徴であり観光拠点は江藤家住宅である。いま国の重要文化財として工事が進んでいる。次に南部の観光地として横綱不知火頭彰館が欲しい。民間団体を軸として町が全面的に支援する。資金は全国的に寄付をお願いする。今風に言えばクラウドファンディングで賛同者を募る。という考えはいかがなものか。</p>	町 長 教 育 長
3. 阿蘇観光の拠点	<p>(1) やっと豊肥本線が開通し元のように大津と阿蘇は近いものになった。まもなく待望の国道 57 号北側復旧ルートも開通する。今後大津町は観光案内、宿泊、飲食を中心に阿蘇観光の拠点になってほしい。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 10 番
 通告者 三宮 美香 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 福祉施設の応援体制について	<p>(1) 介護施設などの福祉施設で新型コロナウイルスのクラスターが発生し、職員が不足する事態が発生している。県によっては応援職員派遣の仕組みづくりを検討しているところもあるが熊本県はまだ協議中と聞く。しかし、この間にも新型コロナウイルス感染は拡大しており大津町でも規模に関わらず多くの福祉施設が感染と隣り合わせで運営されている。クラスターが発生した近隣の施設では、もともとの業務に加え感染により職員も不足し、誹謗中傷も受け大変な状況だったと聞いた。</p> <p>大津町での福祉施設への応援・支援体制についての現在の状況と今後の考え方を問う。</p>	町 長
2. 男女共同参画社会と大津町の考え	<p>(1) ここ数年、大津町の男女共同参画は進んできたように見えるが、実際の数字としては男女共同参画には遠いと感じる。</p> <p>審議会や政治参画の場への女性の参加も、男女人口から考えても女性がもっと発言し提案できる状況へと変えていくべきだと思う。</p> <p>大津町としての考えを問う。</p>	町 長